

2018 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
中心的なビジョン

メッセージ 12

キリストのからだ——神聖なエコノミーの目標

聖書：Ⅰテモテ 1:4. エペソ 1:10, 22-23. 4:4-6, 16. ローマ 12:4-5. 16:1, 4, 16

- I. 神のエコノミーとは、神が人と成り、人が神格においてではなく命と性質において神となり、三一の神の有機体を生み出すことです。それはキリストのからだであり、新エルサレムを究極的に完成します——ローマ8:3. 1:3-4. 12:4-5. 啓21:2:
- A. 神のエコノミーの中心はキリストであり、神のエコノミーの目標はキリストのからだです——コロサイ1:15-19. 2:9, 19。
 - B. 神聖なエコノミーは、神の永遠のご計画であって、ご自身の選びの民の中へとキリストを分与して、キリストの有機的なからだを生み出し、構成し、建造することです——エペソ1:10. 3:8-10. Ⅰテモテ1:4。
 - C. 神のエコノミーにおける目的は、ご自身の命と性質を内側に持ち、かたちと姿を外側に持つ一群れの人々を持つことです。彼らは団体の実体、キリストのからだであり、彼と一となり、彼を生きて、彼の団体の表現となるためです——創1:26. ヨハネ3:14. Ⅱペテロ1:4. エペソ4:16。
 - D. 新約の主な内容は、三一の神が彼の大きい喜びにしたがった永遠のエコノミーを持っていることです。それは、ご自身を彼の選ばれ、贖われた人々の中へと分与して、彼らを命と性質において彼と同じにし、彼の複製にして、彼らに彼を表現させることです——3:9-11, 14-21。
 - E. 神聖なエコノミーは、神と人が一つの実体、すなわち、神であって人であり、人であって神であるものとなることです——Ⅰコリント6:17. 12:12。
 - F. 神が人と成り、人が神と成ることの結果は、一つの有機体です。この有機体は神と人とのミングリング、すなわち、キリストのからだです。
- II. 信者たちが神のエコノミーにおいて神の恵みを経験する究極的な完成は、キリストのからだである召会です——エペソ1:6-8, 22-23:
- A. 恵みは、御父(源)、御子(要素)、その霊(適用)という三つの面における三一の神の具体化における現れです——Ⅰコリント15:10. Ⅱコリント8:9. ヘブル10:29。
 - B. 恵みは、神の永遠のエコノミーの内容を示し、それはキリストのからだを生み出して、新エルサレムを究極的に完成します——Ⅱコリント13:14. エペソ4:4-6. 啓21:2。
 - C. 今日、神が求めているのは、わたしたちが彼のエコノミーにおいて恵みを経験する

ことであり、それは神聖な三一が一つの有機体を持つためです——ヨハネ1:16. 15:1。

D. キリストの有機的なからだのあらゆる面は、神のエコノミーにおける神の恵みの結果です——ローマ5:21. 12:3-8。

Ⅲ. キリストのからだ、すなわち、召会は、四で一です。すなわち、父、子、霊、そしてからだです——エペソ4:4-6：

A. エペソ第4章4節から6節が啓示しているのは、四つのパーソン、すなわち、一つからだ、一つ霊、一つ主、一つ神また父が共にミングリングされて、一つの実体となり、キリストの有機的なからだとなっていることです：

1. キリストのからだに関して、父は源であり、子は要素であり、霊は本質です。これら三者は、からだとミングリングされています。
2. 父は子において具体化されており、子は実際化されてその霊となっており、彼らはみなわたしたちの中にいます。ですから、わたしたちは神聖で人に属する構成です——3:16-20。
3. 父、子、霊はみな、キリストのからだと一ですから、三一の神とからだは今や四一です。

B. エペソ第4章4節から6節における四で一の有機的な実体は、啓示録第1章20節における金の燭台と符合します：

1. 型によれば、金の燭台は、三一の神（父、子、霊）の具体化としての召会を表徴します：
 - a. 燭台は純金のものであり、それは父なる神の神聖で、永遠の、朽ちることのない性質を表徴します——出25:31. IIペテロ1:4。
 - b. 燭台の堅固な形状、様は、子なる神が父なる神の具体化であることを表徴します——出25:31。
 - c. 七つのともし火は、七つの霊としての霊なる神を表徴します——37節. 啓4:5。
2. 召会は、三一の神が彼の贖われた民と完全にミングリングされたものとなり、燭台となって、神を表現します——1:20。

Ⅳ. キリストのからだは、すべての中ですべてを満たしている方である、すべてを含むキリストの豊満です——エペソ1:22-23：

- A. 召会はからだ「であり」、からだは豊満「です」。これら二つの水準の「である」は、平行するというよりは、連続するものです。
- B. からだはかしの豊満であり、豊満はかしの表現です。
- C. キリストの豊満はキリストの豊富を享受した結果です。キリストの豊満は、わたしたちによって経験され、わたしたちによって吸収され、わたしたちの存在の中へと構成されたキリストが、わたしたちの要素となったものです——3:8。
- D. すべての中ですべてを満たしている方であるキリストは、彼の豊満となるからだを必要としています。このからだは、彼の表現となる召会です——1:23：
 1. キリストは無限の神であり、何の制限もありません。彼はとても偉大であり、すべての中ですべてを満たしています。
 2. そのような偉大なキリストは、召会、彼のからだは彼の豊満となって、彼の完全

な表現となることを必要とします。

V. わたしたちは宇宙的なクリスチャンとなって、キリストの宇宙的なからだの宇宙的な展望を持つ必要があります——17-23節. 使徒10:9-11. 啓21:10 :

- A. キリストのからだは召会の内在的な意義です。からだがなければ、召会は意味不明であり、無意味です——ローマ12:4-5. 16:1, 4, 16。
- B. 神が働いているのはキリストのからだを得るためです。彼は全宇宙において召会を得たいのです——エペソ1:22-23。
- C. わたしたちが宇宙的な展望を持っていることは極めて重要です。わたしたちが見る必要があるのは、キリストが宇宙的なからだを願っており、神がキリストのために宇宙的なからだを用意するということです——4:16。

© 2018 *Living Stream Ministry*